



とちぎ
いにしへの
回廊

七

くらしを支えた水と川

とちぎの先人たちの知恵を辿る



歴史への
しどない

ぶらり
散策

歴史への いざない

くらしを支えた水と川



国選択無形民俗文化財「間々田のジャガマイタ」の「水呑みの儀」。
雨乞いや豊作、疫病退散を願う（小山市間々田）

わたしたちの生活にとって欠かせないもの。それが水です。水を生活に取り込む人びとの知恵と工夫は、縄文時代の遺跡、寺野東遺跡から発見された食料加工に使われた水場遺構から、四千年以上も前から続いていることを知ることができます。

田畑の豊かな恵みにも水は欠かせません。人々は、水を確保するためにトンネルを掘り、ため池を作るなど、さまざまな工夫をしてきたのです。さらに、豊作をもたらす恵みの雨を願って祈りを捧げました。水との深い結びつきは、各地に伝承となって伝えられています。荒廃した田畑を再生させるために、二宮金次郎（尊徳）やその弟子たちが力を尽くすことにもなりました。

街道がつくられ、人々が往来し、「モノ」だけでなく、「文化」も行き交いました。実は道だけではなく、川も重要な交通路でした。今ではその役割は少なくなっていますが、現在でもあちこちで名残を見ることができます。

水を得るための人々の知恵と工夫、そして苦闘がわかる文化遺産が、今なお、栃木県には数多く残されているのです。



江戸時代から明治中頃まで、思川の重要な河岸（船着場）だった乙女河岸を復元した模型（小山市立博物館提供）



二宮尊徳坐像（部分／岡本秋暉筆、小田原市報徳二宮神社蔵、報徳博物館提供）



唐桶溜へ水を引いた岡田八兵衛（宗山）のひ孫が建立した導水碑と水神塔（芳賀町指定史跡：芳賀町東水沼）



さくら市上阿久津 P X ii X

江戸から明治中期にかけて、奥州道中から鬼怒川を通じて江戸への物資輸送で賑わった阿久津河岸（あくつかし）に鎮座。船頭たちの守護神を祀っているため、当初の境内は船の形を模していたといふ。

市指定建造物 船玉神社 はんままじんじや は-4

行き交う



真岡市荒町 P O ii O

【問】0285-83-2560（真岡木綿会館）【開館時間】9時～16時【休館日】火曜日（祝休日の場合は翌日）【入館料】無料

真岡木綿の繁栄を象徴 江戸時代末期、真岡に開店した鈴木屋岡部呉服店を経営していた岡部家の別荘で、昭和二十七年（一九五二）年まで利用。岡部呉服店は地元特産の真岡木綿を取り扱い、鬼怒川の水運を利用して江戸まで運んでいた。

県指定建造物 岡部記念館(金鈴荘) おかへきねんかん(きんれいそう) は-5



小山市乙女 P O ii O

日光東照宮ゆかりの河岸 慶長五（一六〇〇）年、会津の上杉景勝を討つために武器などを思川から陸送したのがはじまりと言われている。以後、日光東照宮の改修（日光普請）のための資材や米などの物資の輸送の重要拠点として繁栄した。

おとめかしあと 乙女河岸跡 ろ-6



小山市立車屋美術館/小山市乙女3丁目

【開館時間】(4/1~9/30)9時~17時(10/1~3/31)9時~16時(いずれも入館は開館の30分前まで)【休館日】月・第4金曜日(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始(12/29~1/3)【観覧料】一般100円、高校・大学生50円、中学生以下は無料

国登録建造物 小川家住宅 おかわけじゆうたく は-6

尊徳も祈った水辺の杜 五行川のほとりに鎮座し、大前さまの名で親しまれている。文政十（一八二七）年、二宮金次郎（尊徳）はここに籠り、桜町領（現・真岡市物部地区）を流れる穴川用水改修の成功を祈ったといふ。

国指定重文建造物 大前神社 おおきまじんじや は-5



真岡市東郷 P O ii O



二宮堰親水公園/宇都宮市徳次郎町 P O ii X

二宮堰 にのみやせき は-4

132 596 090*21

132 596 090*21

いのる

清き水が湧く聖なる泉 一年を通して水が枯れることなく、貴重な農業用水としても利用されている。奈良時代の僧侶・勝道上人（しようじょうしゆにん）が誕生した時に、この水を産湯（うぶゆ）に使ったという伝承が残されている。

町指定建造物 姥ヶ池 つばがいけ は-4

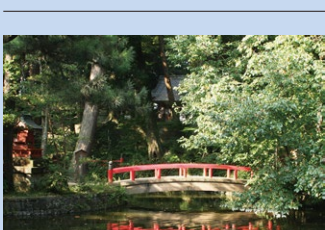


姥が池口マン公園/芳賀町祖母井 P O ii O

町指定建造物 高麗神社 たかおんじや は-4



市貝町田野辺 P X ii X



小山市間々田 P O ii O

宿場町の鎮守の森 天平年間（七二九〜七四九）の創建と伝わる。毎年五月五日、境内では豊作と健康を祈る「ジャガマイタ」（蛇まつり）が行われる。竹とワラで作られた十五メートル程の大蛇が、境内の池の水を飲む「水呑みの儀」は庄巻。

間々田八幡宮 ままちはちまんぐ は-6

大谷川の清き水を配る 昭和二十八年に造られた全国的に珍しい水利施設。「円筒分水井」とは、円筒状の中心部から水を湧き出させ、円筒の外側へ水を一定の割合で分配する施設のこと。農業用水のほか、水道水など四つに分配している。

今市用水円筒分水井 いまじうすいえんとうぶんすいせい ろ-3



日光市瀬川 【問】0288-21-0158

【開館時間】9時~16時半【開館日】月~金曜日(祝休日のぞく)年末年始(12/28~1/4)【入館料】無料

日光市瀬川 P O ii O

県内最大の農業用水 明暦一（一六五〇）年、水不足解消と新田開発のため、宇都宮藩が旧押上村（現・さくら市）の鬼怒川から現在の高根沢・芳賀町東部にかけて切り開かれた農業用水。現在は塩谷町佐貫の鬼怒川から水を取り入れ、真岡市まで整備されている。

市の堀用水 いちのほりすい は-3~1-4



国登録建造物 宇都宮市水道資料館 うつのみすいどうじりょうかん ろ-3

宇都宮の水道はここから 日光杉並木治いにある大正三（一九一四）年建造の木造洋館で、当時は宇都宮市の水道管理事務所として使われていた。館内には、宇都宮市の水道の歴史や当時使っていた道具や機械などを展示している。

国指定史跡 桜町陣屋跡 さくらまちじんやあと は-5



真岡市物井 ■二宮尊徳資料館

【問】0285-75-7155【開】9時~16時半【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)年末年始(12/28~1/4)【料金】無料【駐車場】あり

暮らす 田川の西にある旧石器から平安時代にかけてのムラや墓地があった遺跡。特に約四千年以上前の縄文時代の大きな集落跡からは、飲み水をくんだり、木の実をさらした水場遺構（みずばいこう）などが見つかっている。

水場遺構

おやま縄文まつりの広場/小山市梁 P O ii O

【開園時間】9時~16時半【休園日】月(祝休日は開園)祝休翌日(土日の場合は開園)【入園料】無料



茂木町入郷 P O ii O

222 010 572*77



茂木町小深/牧野 P X ii X

188 881 440*48



唐桶宗山公園/芳賀町東水沼 P O ii O

唐桶宗山公園/芳賀町東水沼

国指定史跡 寺野東遺跡 てらのひがしせき は-5

132 596 090*21

132 596 090*21

入郷石畑の棚田 いりごういしばたけのたな は-4

木須川洞門 きすがわどうもん は-4

唐桶溜 かるけのため は-4

「耕して天に至る」景観 平成十一（一九九〇）年、農林水産省「日本の棚田百選」に選定。「棚田」とは、傾斜地にある稲作地のこと。斜面の崩落を防ぎ、また貴重な動植物の生息地となっている。地元住民のサポートを受けながら稲作体験もできる。

恩恵をもたらすトンネル 那珂川支流の木須川の洪水を防ぐため、長峰山の下を掘り取った、長さ四十七メートル、幅十五メートル、高さ一・六メートルのトンネル。明治四十四（一九二一）年に工事を開始、大正五（一九一六）年に完成した。

地域農業を支え続けて 約十二キロメートル離れた鬼怒川から水を引いて造られた溜池。宝永三（一七〇六）年、難工事の末、地元の豪農・岡田八兵衛（宗山）によって完成された。平成二十二年（二〇一〇）年、農林水産省「ため池百選」に選定。

ぶらり 散策

開拓地・ 那須野が原を潤した 那須疏水を歩く

P 駐車場 **fi** トイレ **mi** マップコード



国指定
重文建造物 那須疏水公園
那須塩原市西岩崎

那須疏水旧取水施設

断崖に造られた石の水門。明治18(1885)年、那珂川の絶壁にトンネルを掘って造られた取入口。その後、明治38(1905)年に第二取入口が造られた。

P (那須疏水公園) **mi** 548 448 198*61

fi (那須疏水公園・冬期は使用不可)



市指定
史跡 那須開墾社第二農場歴史公園
那須塩原市三区町

那須開墾社烏ヶ森農場跡

明治19(1886)年、那須野が原の農場の中で最大規模を誇った那須開墾社の第二事務所の跡地。敷地の北・西・東側には防風用の土手が築かれ、お堀には那須疏水が引かれていた。

P () **fi** ()



那須野が原博物館
那須塩原市三島

第三分水三島堀

明治18(1885)年、那須疏水の開通式が行われた三島農場事務所跡(市指定史跡)を囲むように造られた。第三分水の支線として水を引き込み、主に三島農場で使われていた。

P () **fi** () (那須野が原博物館)

「暮らしを支えた水と川」関係年表 時代区分

年代 関係文化遺産 出来事

縄文時代後期

約4,000年前 寺野東遺跡 水場遺構がつくられる

奈良時代

8世紀中頃 姥ヶ池 勝道上人誕生時の産湯に使われたという

安土桃山時代

慶長5(1600)年 乙女河岸跡 徳川家康、会津の上杉景勝討伐にあたり、荷物を乙女河岸から陸送

江戸時代

17世紀初め 船玉神社 阿久津河岸が造られる

明暦2(1656)年 市の堀用水 宇都宮藩家老の山崎半蔵が市の堀用水を切り開く

17世紀末 高麗神社 この頃には天祭が行われていた(神社創建は16世紀中頃とも)

宝永3(1706)年 唐桶溜 地元の豪農・岡田八兵衛(宗山)が鬼怒川から水を引き完成させる

文政6(1823)年 桜町陣屋跡 小田原藩主の命で、二宮金次郎(尊徳)が下野国桜町領(現・真岡市物部地区)に赴任

文政10(1827)年 大前神社 二宮金次郎が禊所に籠り、穴川用水改修の成功を祈念

安政6(1859)年 二宮堰 二宮金次郎の弟子・吉良八郎が苦難の末に完成させる

幕末 岡部記念館 真岡の鈴木屋岡部呉服店、宇都宮の鈴木呉服店からのれん分けして開店

間々田八幡宮 名主宅を境に、北と南で各1体ずつ蛇の模型をつくって祭りを行っていた

入郷石畑の棚田 山間地を切り開いた稲作地

明治時代

明治18(1885)年 那須疏水旧取水施設 那珂川の絶壁に第一次取入口が完成

明治19(1886)年 那須開墾社烏ヶ森農場跡 那須開墾社第二事務所が建てられる

明治19(1886)年 第三分水三島堀 第三分水が完成

明治末期 小川家住宅 肥料問屋「車屋」が乙女河岸から日光街道沿いへ移転

大正時代

大正3(1914)年 宇都宮水道資料館 上都賀郡今市町(現・日光市)の今市浄水場に建築

大正5(1916)年 木須川洞門 完成。事業費は4,424円

昭和時代

昭和28(1953)年 今市用水円筒分水井 所野第三発電所建設に伴う県営今市用水改良事業の一環として完成

小山市立博物館

【所在】小山市乙女1-31-7

【問】0285-45-5331【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第4金曜日、年末年始(12月28日～1月4日)特別整理期間(年1回、10日以内)【料金】無料(企画展開催時は有料)【駐車場】あり



さくら市ミュージアム —荒井寛方記念館—

【所在】さくら市氏家1297

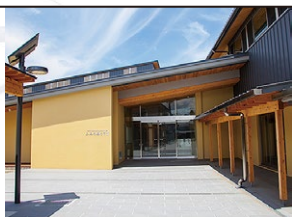
【問】028-682-7123【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝休日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第3火曜日、展示替え期間、年末年始(12月29日～1月3日)【料金】一般300円(210円)高校、大学生200円(140円)小、中学生100円(70円)※()は20名以上の団体料金【駐車場】あり



茂木町まちなか交流館 ふみの森もてぎ

【所在】茂木町茂木1720-1

【問】0285-64-1023【開】(火～金)9時～19時(土日祝)9時～17時【休】月、祝休翌日、年末年始(12/29～1/3)【料金】無料【駐車場】あり



栃木県立博物館

【所在】宇都宮市睦町2-2

【問】028-634-1311【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日、県民の日の場合は開館)祝翌日(土日の場合は開館)年末年始、臨時休館日【料金】一般260円(200円)高校、大学生120円(100円)※()は20名以上の団体料金 ※特別企画展時は別途特別企画展観覧料が必要 ※6月第2土日、県民の日(6月15日)文化の日(11月3日)は無料【駐車場】あり(栃木県中央公園)



日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館

【所在】日光市今市304-1

【問】0288-25-7333【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月、祝休日(月曜の場合は翌日も休館)展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)【料金】無料【駐車場】あり



那須野が原博物館

【所在】那須塩原市三島5-1

【問】0287-36-0949【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】くん蒸期間(9/23～29)年末年始(12/29～1/3)【料金】一般300円(250円)高校、大学生200円(150円)小、中学生100円(50円)※()は20名以上の団体料金 ※特別展開催時の料金はその都度定める【駐車場】あり



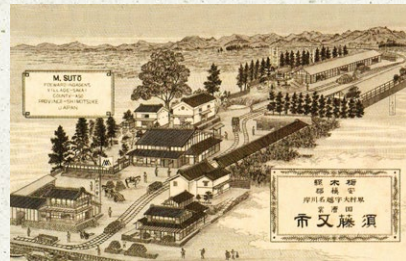
船から鉄道へ

ごえなかし
～越名河岸～

江戸時代、物資の輸送や人の行き来で街道などの陸路を利用した一方、船を使って川を行き来する水路が栄えました。下野国の場合、鬼怒川や渡良瀬川などが江戸へとつながっていたため、物資の上げ下ろし等を行った河岸が栄えました。そのひとつが、越名河岸(佐野市)です。

明暦年間(1655～57)に秋山川に開かれ、地元特産物を江戸へと運びました。そして江戸からは著名な文化人もやってきて、江戸の文化をもたらしました。また越名河岸跡から発掘された陶磁器から、ここが全国各地と結びついていたことがわかります。

明治に入り蒸気船が定期運行し、やがて輸送・交通手段の主役が鉄道に移ると、かつての賑わいは少しずつなくなり、大正時代中頃にはその姿を消してしまいました。



大日本博覧図栃木県之部 須藤又市家(明治23|1890)年:栃木県立博物館蔵)須藤又市家は越名河岸の河岸問屋。馬車鉄道と船による物資が運ばれた様子がわかる



【表紙写真：左上から】往時をしのび鬼怒川をゆく小鵜飼船こうがいぶね（昭和7[1932]年撮影：さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－蔵）／鈴木屋岡部呉服店団扇絵（岡部記念館金鈴荘蔵）／今市用水円筒分水井／今市浄水場沈殿池築造（宇都宮市上下水道局蔵）／木須川洞門／（写真右最下部）那須疏水第二分水堰

「とちぎいにしへの回廊」とは

古くから自然と人間とのかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守られてきた文化財。このプロジェクトは、栃木県内に残る貴重な文化財を7つのテーマ（川と古墳とうさんどう、東山道、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水）から紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

また、専用WEBサイトを開設しました。こちらでは、特集ページのほか、県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報の提供など、本パンフレットに掲載されていない情報が掲載されています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

関係連絡先一覧（平成30年2月現在）

栃木県教育委員会事務局文化財課
☎028-623-3424

宇都宮市教育委員会事務局文化課
☎028-632-2768

小山市教育委員会事務局文化振興課
☎0285-22-9826

さくら市教育委員会さくら市ミュージアム
－荒井寛方記念館－
☎028-682-7123

那須塩原市教育委員会事務局生涯学習課
☎0287-37-5419

日光市教育委員会事務局文化財課
☎0288-25-3200

真岡市教育委員会事務局文化課
☎0285-83-7731

市貝町教育委員会事務局生涯学習課
☎0285-68-0020

高根沢町教育委員会事務局生涯学習課
☎028-675-3175

芳賀町教育委員会事務局生涯学習課
☎028-677-0009

茂木町教育委員会事務局生涯学習課
☎0285-64-1023

写真提供・協力者（敬称略）

宇都宮市上下水道局／小田原市報徳二宮神社／小山市立博物館／さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－／栃木県立博物館／那須野が原博物館／報徳博物館／真岡市観光協会／真岡市教育委員会／茂木町教育委員会

発行

栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

マップコードとは？



※「マップコード」および「MAPCODE」は（株）デンソーの登録商標です。「マップコード」の使い方については、開発元の（株）デンソーのホームページをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/whats.html>